

# 令和8年度 豊岡市立豊岡南中学校 学校経営の方針

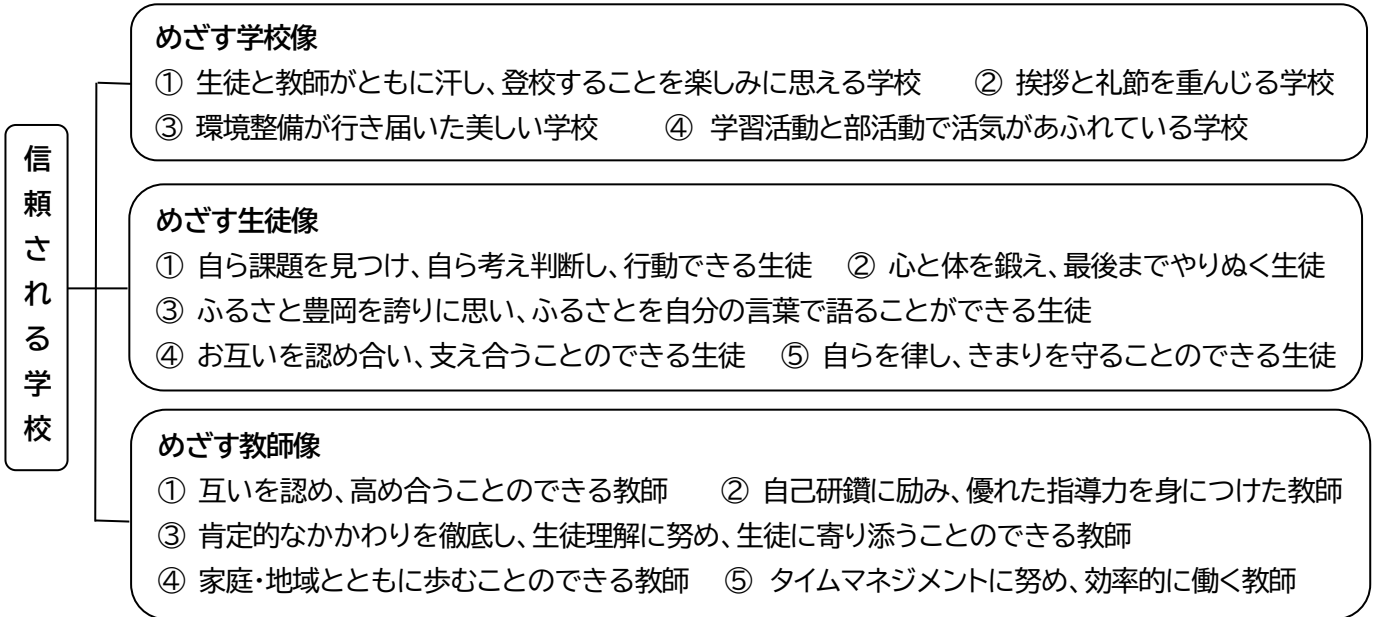
## 1 学校教育目標

『新たな時代を担う 心豊かな生徒の育成』

○南中校区小中一貫教育でめざす子ども像

『夢や目標に向かい、自分とふるさとの未来を切り拓く子』

## 2 めざす姿



## 3 重点目標

- ① 安全・安心な南中に**
  - 学校安全の徹底を図ります。
  - PTA・地域と連携し生徒の安全を見守ります。
- ② 学習が充実した南中に**
  - 居場所のある学級で出番のある授業づくりを推進します。
  - 豊岡の「ひと・もの・こと」に学ぶ「ふるさと教育」と教科教育の連動を図ります。
  - 読書活動を充実させます。
  - 学習習慣の定着を図ります。
- ③ 心の通い合う南中に**
  - 眠育を柱に基本的な生活習慣の確立を図ります。
  - 道徳教育の充実を図ります。
  - あいさつの声がこだまし、花が咲く学校をつくります。
  - 生徒会活動を充実させます。
- ④ 地域に根ざした南中に**
  - 校区小学校との連携を充実させます。
  - 地域活動への積極的参加を推進します。
  - 家庭・地域との連携を深めます。

# 令和8年度のスタートにあたって

4名の新しい仲間が加わり、新たに「チーム南中」がスタートしました。それぞれの「持ち味」を発揮し、生徒にとっても、保護者にとっても、そして、私たち教職員にとっても、「南中で良かった！」と思える南中の教育を創っていきましょう。

## 期待すること

- 子どもに寄り添い、「肯定的なかかわり」を基本とする
  - ・ 子どもの声を「聴く」（子どもの行動には背景（事情）がある）
  - ・ 「褒める」「認める」「喜ぶ」こと（子どもの良さと持ち味を見つける・適切な評価）
- 特別支援教育の視点を持つ 「支援の要らない子どもは一人もいない」
  - ・ 「子どもにとってどうなのか」という判断基準で子どもに関わり続ける
- 働きがいを感じることが出来る職場づくり
  - ・ 自分の目標（重点取組目標）を立てる
  - ・ 子どもの成長を共有する
  - ・ 一人で抱えずに、組織で対応する。
- いつでも何でも相談できる風通しの良い職場づくり
  - ・ ホウ（報告）・レン（連絡）・ソウ（相談）を徹底する
  - ・ ミスを隠さず、ピンチをチャンスに（逃げるな・隠すな・嘘つくな＝危機管理の鉄則）
  - ・ セクハラ、パワハラ、非違行為は絶対ダメ！（軽率な言動が信用失墜、一生を台無しに）  
※言いたいことが言えない学校になる  
→ 「この学校で、この仲間と仕事ができよかった」と思える学校に
- タイムマネジメントに努め、効率的に働く
  - ・ 昨年度までの取り組みを活用する（前年度踏襲ではない）
  - ・ 「子どもにとって」教育効果のない行事等はやめる勇気を持つ。（労力のわりに・・・）
- 授業と行事で子どもを育てる
  - ・ 「学びたい」を引き出し、「わかった」「できた」を実感できる授業づくり
  - ・ 「ねらい」と「振り返り」を連動させた授業づくり
  - ・ 行事等に非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）の向上の視点を取り入れる
- お互いの「持ち味」と「良さ」を認め合い、学び合う
  - ・ 学年、教科、職種の壁を超え、ベテランも中堅も若手も協力する
- 顔でつながり、声でつながり、心でつながる連携をする
  - ・ 悪い情報だけでなく、良い情報も伝え、保護者や関係者との連携を密にする
  - ・ 足で稼ぐ生徒指導（電話より対面で心をつなぐ家庭訪問）
- 健康と家庭を大切に、仕事も趣味も楽しむ
  - ・ 我々のウェルビーイングが高まることで南中の教育をより良くすることになる

⇒ 生徒も職員も、登校（出勤）することを楽しみに思える学校  
(生徒も職員も大切にされる学校)

### よい授業の特徴

- ①子ども一人一人をよく見ていること
- ②大事な場面で子どもをほめていること
- ③笑顔が多いこと
- ④指示が明確なこと
- ⑤発言をよく聞き、受け止め、板書に位置付けていること
- ⑥難しい用語には必ず説明を加えていること
- ⑦時間を確保して資料（課題）を丁寧に読みとらせて（理解させて）いること
- ⑧板書を写す、写さないの指示が明確で、ノート指導を徹底していること
- ⑨板書に学習展開がよく表れていること
- ⑩子ども全員参加の授業をつくらうとしていること

澤井陽介「授業の味方」（東洋館出版社）